令和 8 年 10 月 27 日発行

みんなかがやく！（江東区教育委員会テーマ）
ブリリアンス　Next　Stage　第13号
～ありのままに今を輝く～
江東区立南砂中学校だより

校　長　　近藤　啓太

多様性が拓く、子どもたちの可能性

先日、全校生徒対象に「進路に関する出前授業」を行いました（学校だよりNo.12参照）。当日は、江東区中学教育研究会・進路指導部の研修会として、江東区の進路指導に関わる先生方も来校し拝聴しました。
そして生徒下校後、教員向け研修として、今、そしてこれからの社会で求められる人材や環境づくりについて、学びました（講師は、大日本印刷株式会社D＆I推進室室長のHさん）。以下は、その時の内容です。

現在、社会全体で「D＆I：ダイバーシティ＆インクルージョン（多様性と包摂）」の重要性が叫ばれています。（例えると、金子みすゞさんの「みんなちがって、みんないい」を一歩進め、「みんなのちがいを活かし合おう」です）
意思決定の場に多様な視点がないと、「新しい価値が生まれにくい」「致命的な失敗につながる盲点を見抜きにくい」という認識が、ビジネスの現場で急速に広まっているためです。

日本の大学における理工系分野の男女比は、長年「男子8割：女子2割」という偏りが続いています（文部科学省「学校基本調査」）。また、高等教育の理工系分野における日本の女性割合は、OECD加盟国の中でも最低水準にとどまっています（内閣府「男女共同参画白書」）。
このような偏りの背景には、子ども自身の適性以上に、周囲の大人（親や教員）が無意識に抱く「男の子／女の子だから」「理系／文系だ」といった「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」が影響しているのではないかと指摘されています。

これに対し、大学入試における「理工系女子枠」の設置や、企業の働く環境の整備など、社会構造そのものを変えようとする動きが広がっています。多様性の推進とは「特定の人に無理をして頑張らせる」ことではなく、「誰もが自分らしく力を発揮できる環境を社会が整える」ことだからです。

これからのキャリア教育は

進路選択において「特定分野のニーズが高まる」ことはありますが、大切なのは「性別やこれまでの傾向で決めつけず、自らの可能性を広げていくこと」です。私たち大人も固定観念をアップデートし、子どもたちが「自分らしさ」を大切にしながら、「未来のあたり前」を自ら創り出していけるよう、温かく背中を押していきたいものです。

地域とともに ― みどり幼稚園 運動会ボランティア参加　【10 月 18 日（日）】



今年度限りで閉園を迎える「みどり幼稚園」の運動会が先日開催され、本校生徒がボランティアとして参加しました。今年は最後の運動会ということもあり、多くの旧職員や卒園生も駆けつけ、これまでにない盛大な大会となりました。例年は生徒会役員5名の参加でしたが、今年は全校生徒に呼びかけたところ11名の有志が集まり、運営のサポートに汗を流しました。
当日は快晴のもと、一生懸命に走り、仲間を本気で応援する園児たちの姿が大変ほほえましく、交流を通して参加生徒もたくさんのエネルギーをもらいました。活動の最後には園児たちからお茶のプレゼントがあり、笑顔でハイタッチを交わす生徒たちの表情からは、心温まる充実感が溢れていました。（HPをご覧ください）
なお、11月15日（日）に開催される地域の運動会「親子スポーツフェア」にも、本校から15名の生徒がボランティアとして参加する予定です。地域では、休日にもかかわらず多くの方々が子どもの育成に関わり、活動してくださっています。中学生もこのような地域活動に積極的に参加することで、地域の一員としての自覚や誇りをもち、世代を超えた交流から得られるかけがえのない学びや気づきを感じ取ってほしいと願っています。

令和８年10月27日発行

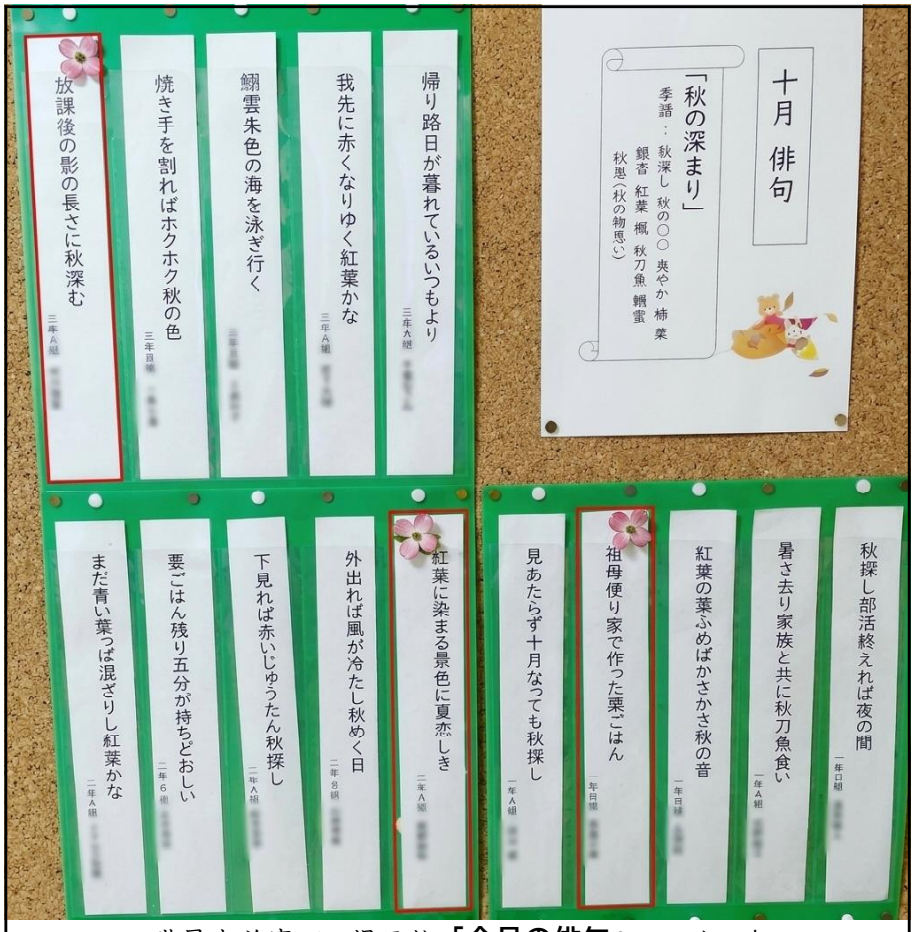
学校評価（中間）アンケートへの回答

（ご意見）
○夏場の自転車登校を認めて欲しい。一律禁止なのは相応の理由があると思うが、指定の学区以外から通う子も少なくないので、夏場だけなどご検討いただけたら有難い。
○部活の日の再登校ですが、家が遠い場合は学校内か教室で待機や自習ができれば助かる。特に気温が高い夏は往復が大変に見えます。

（回答）暑い時期の登校や遠方からの通学など、お子様の安全面や体調をご心配されるお気持ちはよく分かります。ご要望いただいた自転車通学につきましては、江東区の定めにより時期を問わず禁止となっております。また、再登校や校内での待機については、交通事故の防止や自己管理能力（提出物）の育成、安全面を考慮し、大会直前などの特別な事情がない限り原則行わないよう教員に周知しています。
　やむを得ず再登校が必要な場合は、事前のご家庭への連絡や、ご自宅からの距離に配慮した時間設定を行います。また教員不在の態での別室待機は、安全面での責任がとれないため、見合わせています。
　「放課後学習教室」を利用できる日もあります。個別の事情につきましては顧問までご相談ください。お子様の安全を最優先に考えての対応となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

（ご意見）
○昨年まで実施していた漢字検定の取り組み（年1回は必ず受験）を復活させてほしい。

（回答）これまで実施していた全員受検には、受検級ごとの問題配付・回収の管理、受検料精算の事務負担、欠席時の振替の難しさ、上位級取得者の受検機会の担保-といった運用の課題がありました。
これら現場の負担や授業時間等の確保を考慮し、全校一斉受検の継続は難しいと判断しました。
　一方、学校を準会場として、主体的な受検機会は維持しており、自ら目標を立てて挑む姿勢は学校経営方針の3本柱「主体性の伸長」に合致しています。現在、試験監督をPTAや地域学校協働本部の活動ボランティアに依頼し協力いただいております。今後ともよろしくお願いします。
　また国語科では、新たな学びの取り組みも行っています。今後も生徒の主体的な学びを支えます。



職員室前廊下の掲示物「**今月の俳句**」コーナー」
写真は生成AIで加工し、勝手に校長賞を設けました。

被爆クスノキ2世植樹
【10月19日（月）】

　文化祭の準備が追い込みに入る中、植樹しました。



　1年間で1メートル程の高さまで成長するそうです。来年のこの時期の学校だよりで、成長の様子を報告いたします。

次号は
文化祭と
周年式典等を
掲載します。